

【第4回：健康・医療・福祉分野】

- 超高齢社会を迎える中、疾病予防と健康づくりの更なる充実により、健康寿命の延伸を行うことが重要。
- 働き盛り世代での歯科受診が低調であることから、就業者における歯科保健サービスの充実を図っていくことが必要。
- 人手不足の中、看護職員の確保のため、復職支援や子育てしやすい等の勤務環境の改善、セカンドキャリアへの支援などが必要。
- 食は心の有り様や生き方にも通じることから、若い世代に対する食生活に関する教育を行うことが重要。
- 人材確保のためには、福祉業界のイメージアップの更なるPRが必要。
- 健康な人や若い人もいつかは支えられる立場になることを踏まえ、障害者も含め地域住民全員が連携した支え合いの体制を構築していくことが重要。
- 人手不足が深刻化する中、外国人の受け入れも視野に入れ、受け入れるための環境整備が必要。
- 個人情報保護が強化されてきた中、行政等との円滑な情報共有の仕組づくりが必要。
- 子どもと障害者・高齢者がお互いに交流することを通じ、福祉教育を行うことが重要。
- 入所施設での「看取り」も含めた、医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの構築が必要。
- 障害者が積極的に働ける場を提供していくことが必要。

- 点字図書館のあり方を検討する際には、現在行っている点訳や音訳の貸出だけでなく、相談や訓練ができるなど総合的支援を受けることができるような機能も併せ持つ施設として検討することが重要。
- 2023年の全障スポに向け、手話通訳や要約筆記などの人材の確保・育成が急務。
- 個人情報保護が強化される中、要支援者の情報の入手が困難になってきているので、団体主導ではなく、行政主導で支援を行うことが必要。
- 全国大会を開催できるような会場の整備など、基盤づくりや環境づくりが必要。
- 佐賀の玄関口として、佐賀駅の賑わいを創出することが重要。